



# 高崎山 メンバーズ クラブ会報

No. **49**

takasakiyama  
MEMBER'S CLUB  
kaihou 2008.1



国立公園

高崎山  
自然動物園

写真提供:メンバーズ会員  
植村 千代子さん



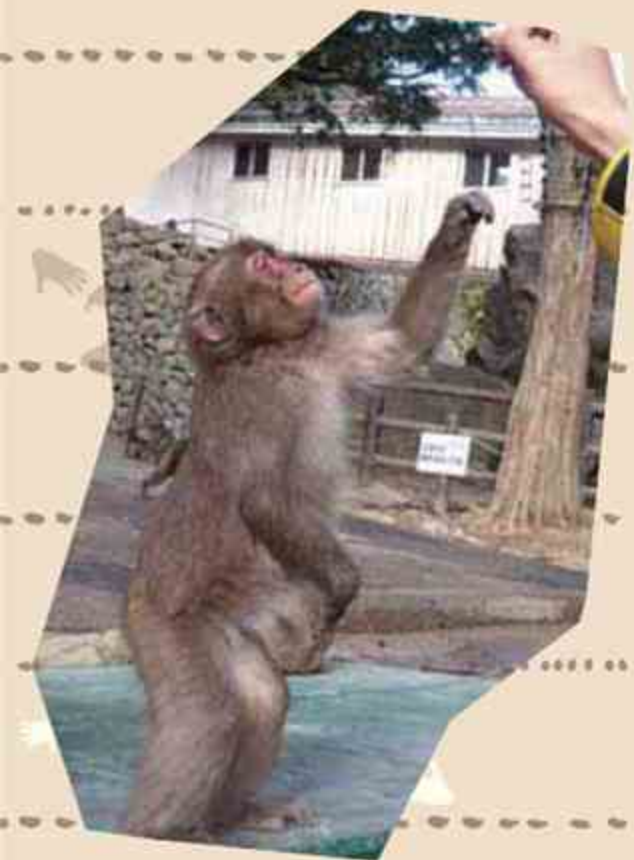
# 高崎山の恋愛事情

サを与える仕草をすることによって、  
ーンに分けられた。

**E** ばんざいをする



	計
1	36
2	170
3	206



結果から見ても、高崎山のサルは  
左利きが多いと思われます。

(記者:編集長)

今年も恋愛のシーズンがやってきました。意外と、上位のオスはもてないという悲しい現実があります。というのもメスザルたちは、上位のオスとの恋愛を避けているからです。(上位のオスほど群れにいる期間が長いので、近親結婚になる可能性が高いので)

昨年は、C群α(アルファ)オス「ソロ」は、連戦連敗でした。想いが果たせず、好きなメスの後をつけたり(ストーカーさながら)機嫌取りに、毛づくろいをする毎日。見ていて本当に哀れに感じました。今年は彼女ができるといいですね。

そんな、「ソロ」の気持ちを知ってか、メス第1位(婦人会長)の「ネビア」は、相変わらず調子がよく、さびしい「ソロ」への毛づくろい…自分の地位を確保するためのご機嫌取りです。見ていて本当に腹が立ちますが、何も助言ができない自分に空しさを覚えるだけです。

そんな状況をよそに、最近C群に入ったばかりのオスはもてまくりです。1時間ごとに彼女が変わることもあります。メスからの積極的なアピールに疲れさえ見せています。普段は群れの中心には入れず、厳しい生活を強いられている彼らですが、この時期だけは、自分の遺伝子を多く残せるチャンスが多く、「ソロ」からしてみればうらやましい限りです。

(記者:編集長)



ビックリしました。

あの温厚だった「タイガー」が、このような態度をとるとは…

その事件後、コザルがたくさん集まる『高崎山保育園』に私が近づくだけで、「また泣かしたらただじゃおかないぞ!」と言わんばかりに威嚇をしてくるようになりました。

順位が上がったことで、「タイガー」の中に『群れを守るのは俺だ!』という自覚が芽生えたのかもしれませんが。

B群には「サヤカ」や「ゴルゴ」といった話題のサルがいますが、「タイガー」の時代がくるのも、そう遠くないかもしれません。

(記者:副担当者S)



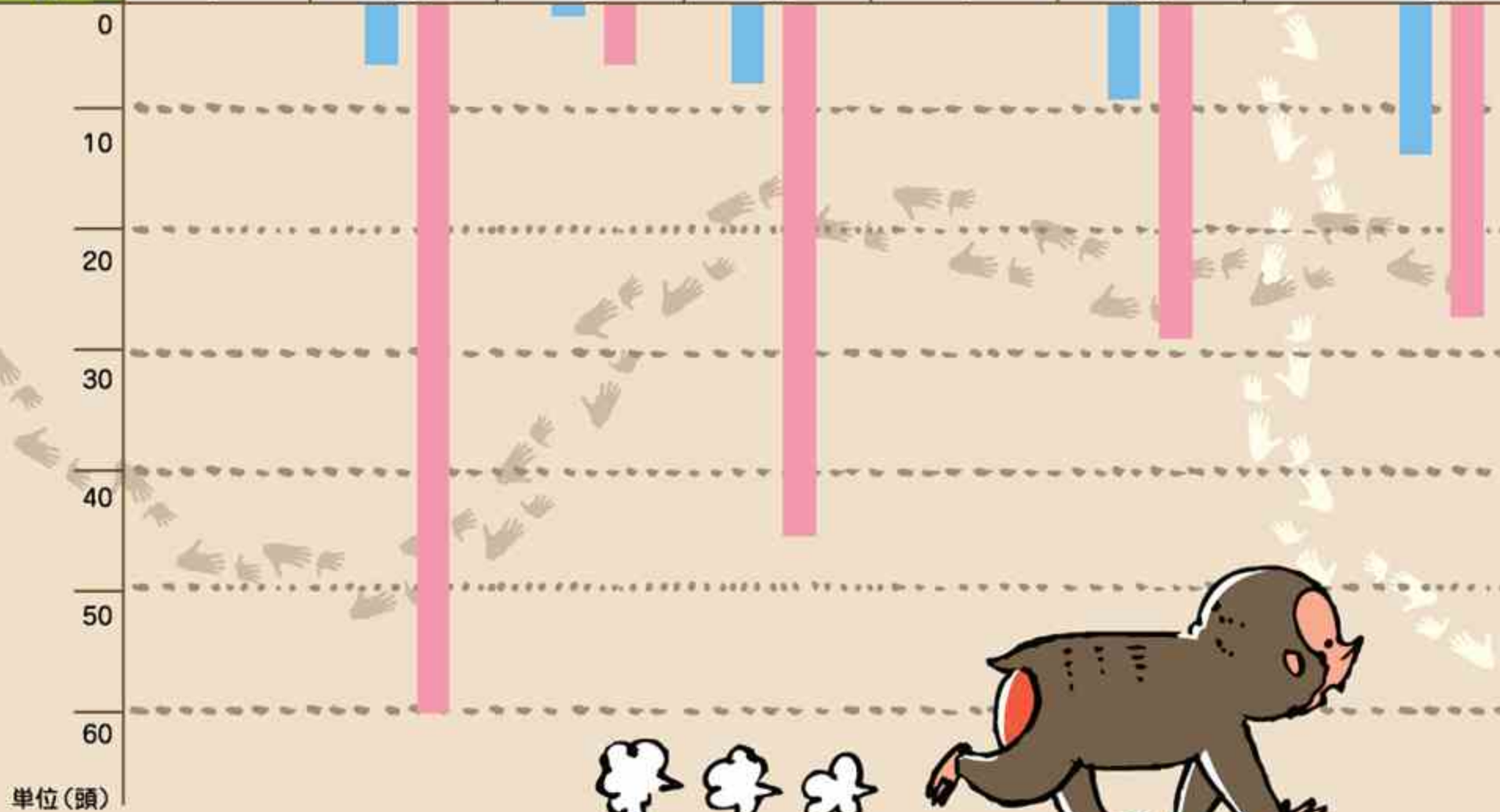


# サルに利き腕ってあるの？

調査方法……  
係員がポケットの工  
サルの手の動きを見  
動きには次の5パタ

サルに利き腕があるかについて、オスサル36頭、メスサル170頭を対象に調べたところ、次のような結果が得られました。

	A 肘を立てる		B 腕を横に伸ばす		C 手を地面につけたまま手のひらを上向きにする		D 反応しない
	右手	左手	右手	左手	右手	左手	
オス	0	5	1	7	0	9	13
メス	0	60	5	46	0	29	28
計	0	65	6	53	0	38	41



## 優しい男「タイガー」



B群のオスサル「タイガー」は、今まで目だった存在ではありませんでした。どちらかといえば、「係員が近くに来ると係員と目を合わすのも嫌で場所を移動する」といった温厚なタイプのサルでした。

しかし最近、彼の環境が変わりました。昨年まで第5位だった順位もこの一年で第2位まで上がり、それに伴って、尻尾を上げて歩く姿が増えてきました。また、ケンカが起きると走って仲裁に行くことも多々あります。

ある日、コザルが迷子になる事件が起きました。

今まで、B群のオスサル達は、コザルが迷子になって泣いていても助けたり様子を見に行ったりすることは、あまりしていませんでした。ところが「タイガー」は、私に「お前が泣かしたる!!」と言わんばかりに怒って向ってくるのです。私は本当に



## マンサクと私

「マンサク」はB群のオスで順位的にはまだまだ下位のサルです。ただ、いつもB群が山から降りてくるとき、先頭でやってきます。

この「マンサク」と初めてあったときは、「ああ～このサルがっこいいなあ～」と感じ、それ以来、私のお気に入りのサルになりました。しかし、ただ1つ問題があります。どうやら、「マンサク」のほうは私のことが気に入らないようなのです。顔を合わせるだけで、気合いの入った顔で睨みつけてきます。仲良くなりたいので何とか努力はしているのですが…。誰か私と「マンサク」の仲をとってもらってください。

(記者:あまの川)



## 手作り遊具

サル寄せ場では、コザルたちのために自然の物を使い手作りの遊具を作っています。普段、山の中で生活しているコザルが、新しい遊具に初めて遭遇したときどんな行動をとると思いますか？新しい遊具に警戒し、近づかないのでは…と、思われがちですが意外にも、すぐに馴染んでしまいます。コザルたちは、遊具を設置している様子を、近くで興味津々に見ていて、設置し終えたスタッフが、遊具から離れると同時に、遊具に駆け寄り我先にと遊び始めます。どこの世界もそうですが、子供は大人と違い、好奇心旺盛で順応性に優れているようです。

(記者:KA-TURA)

## 第2回 高崎山サル博士検定結果報告

11月4日(日)に第2回高崎山サル博士検定を行いました。筆記試験として高崎山の歴史や高崎山のサルの事、またサルのことわざなどの問題あわせて92問。実地試験としてサルの顔当ての問題を2問(1問4点)の計100点で行われました。

100点満点で博士の称号が貰えますが、第1回目の検定では最高が90点以上の学士でした。今年の結果は…昨年同様学士が最高でした。

博士はやはり、狭き門です。今年から90点以上の称号を手にした人には、他では絶対に手に入らない、称号入りバッチが贈られるようになりました。今年トップだった立川さんだけが、学士のバッチを手にすることが出来ました。

来年も行いますので、ぜひなかなか手に入らないバッチをGETしてみませんか？  
目指せ博士バッチ!!



今年、トップの学士だった立川さん。  
(立川さんはメンバーズクラブの会員で1月から10月の間に60回以上来園しています)



写真募集

メンバーズ会報の表紙に写真を載せてみませんか？

写真とコメントを同封の上、下記の宛先までご応募ください。(担当者:江川・嵯峨)

●大分市内の小学生は入園料が無料です。名札を見せて窓口にお申し出ください。●住所・電話番号に変更・訂正がございましたらご連絡下さい。

ご意見・ご要望をおまちしています



国立公園

高崎山自然動物園

〒870-0802 大分市神崎3098-1

Tel.097-532-5010 Fax.097-536-2500

<http://www17.ocn.ne.jp/~takasaki/>